



腸管出血性大腸菌感染症に注意！！

＜気温が高い初夏から初秋に患者が増えます＞

◆どんな病気？◆

代表的なものは「腸管出血性大腸菌O157」で、その他に「O26」や「O111」等が知られています。症状は、感染しても無症状のものから軽度の下痢、激しい腹痛、頻回の水様便、さらに著しい血便とともに重篤な合併症を起こし、時には死に至るものまで様々です。



◆感染原因◆

菌で汚染されている飲食物を摂取したり、患者の糞便に含まれる大腸菌が直接または間接的に口から入ることによって感染します。

◆予防◆

腸管出血性大腸菌は75℃で1分間加熱すれば死滅します。食品は十分に加熱し、調理後の食品はなるべく早く食べきりましょう。二次感染予防として、適切な食品衛生管理や十分な手洗いを心がけましょう。



◎下痢や腹痛など、体調が悪くなった場合は医療機関を受診し、食事の内容などを医師にお伝えください◎

定点種別	疾患名	状況	16週(4/15~4/21)		17週(4/22~4/28)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	—	34	1.36	30	1.20
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	54	2.16	59	2.36
小 児 科	RSウイルス感染症	/	16	1.00	28	1.75
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	7	0.44	3	0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	75	4.69	85	5.31
	感染性胃腸炎	—	51	3.19	90	5.63
	水痘(みずぼうそう)	—	5	0.31	10	0.63
	手足口病	—	6	0.38	10	0.63
	伝染性紅斑(りんご病)	—	0	0.00	1	0.06
	突発性発しん	/	6	0.38	13	0.81
	ヘルパンギーナ	—	1	0.06	2	0.13
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	0	0.00	0	0.00
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	4	0.80	6	1.20
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎	/	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし